

平成30年度教育研究活動報告書

| | | | |
|------|---------|----|--------------|
| 氏名 | 神崎稔章 | 所属 | 経済情報学部経済情報学科 |
| 学位 | 博士（経済学） | 職位 | 講師 |
| 専門分野 | 金融論 | | |

| | |
|--|---|
| I 教育活動 | |
| 本年度担当科目 | |
| | 授業科目 |
| 学部 | 基礎演習Ⅰ、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ、金融論Ⅰ、金融論Ⅱ、国際金融論、アジア経済事情 |
| 大学院 | 金融システム特論 |
| II 研究活動 | |
| 現在の研究テーマ（3つまで） | |
| （1）金融市場分析 | |
| （2）決済システム | |
| （3）金融化 | |
| 本年度を含む過去3年間の研究業績 H30・H29・H28（件数は追加可） | |
| H30 <論文> 「イギリス短期金融市場と信用」 『尾道市立大学経済情報論集』 Vol.18, No.1, 29-46頁. <論文> 「投資家層と鉄道業の発展」 『尾道市立大学経済情報論集』 Vol.18, No.1, 47-72頁. <論文> 「アメリカ金融市場の様相：1970年代後半～1980年代前半を中心に(2)」 『尾道市立大学経済情報論集』 Vol.17, No.3, 69-87頁. <論文> 「自然災害に対応するARTの発展と課題(2)」 『尾道市立大学経済情報論集』 Vol.17, No.3, 89-107頁. <発表> 「イギリスの産業発展と金融」, 信用理論研究会（西南学院大学、福岡）, 2019年2月. | |
| H29 <論文> 「1980年代アメリカ金融市場の様相－1970年代後半から1980年代前半を中心に－(1)」, 『尾道市立大学経済情報論集』 Vol.17, No.2, 137-158頁. <論文> 「自然災害に対応するARTの発展と課題(1)」, 『尾道市立大学経済情報論集』, Vol.17, No.2, 159-171頁. <論文> 「多地域への影響を考慮した熊本地震の越境性測定と復興のための金融措置」（岡本隼輔氏との共著）, 『尾道市立大学経済情報論集』, Vol.17, No.1, 6月, 41-55頁. <発表> 「自然災害とリスク金融」, SGCIME（東京）, 2018年3月. | |
| H28 <発表> 「自然災害と経済及び金融に関する考察－熊本地震を例に－」（神崎稔章, 岡本隼輔, 証券経済学会50周年記念大会, 明治大学, 2016年9月） | |
| H27以前の主な研究業績（件数は追加可） | |
| （1） <論文> 「北海道の貯蓄投資バランスに関する考察」, 『商学討究』, 小樽商科大学, 第60巻第4号, 117-141頁（2010） | |
| （2） <論文> On the behavior of money flows on the real side and the financial side in Hokkaido prefecture, CBC Discussionpaper series (132) pp.1-19, (2011) | |
| （3） <論文> An Analysis of the Saving and Investment Balance in Hokkaido from the Perspective of Long-term Data, EIER, Springer, pp.25-42, Vol. 9 (2012) | |
| （4） <論文> 「北海道を中心とする地域経済と地域金融」, 金融構造研究, (35) 23-36頁（2013） | |
| （5） <学会発表> On the Behaviors on the Real Side and Financial Side in Hokkaido Prefecture（日本金融学会、立正大学、2012年5月） | |
| 学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H28・H29・H30 | |
| 所属学会・所属団体 役職等と任期 | |
| 日本金融学会、証券経済学会、中四国経済学会 | |